《第118回》　令和五年四月の作品

〈四月十三日（金）　新宿御苑吟行　於・ゆりのき〉

ハンカチの花を見上ぐる車椅子　（一江）

啄木忌鉄路の音を聞きながら　（奉男）

緑立つヒマラヤ杉の巨木かな　（平六）

母と子の森を歩めば著莪の花　（孝昭）

陽を浴びて頭もたげる春紫苑　（貴美）

新緑の隙間すきまに高層ビル　（隆治）

関山の名もて主役の桜かな　（正雄）

〈欠席投句〉

花あやめよき思ひ出の十三橋　（清助）

竜天に登るや口に玉銜へ　（芙紗）

涅槃西風（ねはんにし）たゆたふ靄（もや）を引き裂いて　（前歩）